



絆

KIZUNA
YAMAMOTO INDUSTRIES Co., Ltd.
Company Newsletter

山本産業(株) 社内報

きずな

2024.1.1
vol.14



甲辰

きのえたつ

二〇二四年は「甲辰(きのえたつ)」の年
【甲辰】には「成功という芽が成長していき、
姿を整えていく」という意味合いがあり、
「努力すれば実りやすくなっていく年」と言われています
みなさんが将来のために日々努力し続けてきたことが、
大きな結果につながり
「夢が実現する」良い一年にしていきましょう

新年あけましておめでとうございませす



2030」の実現に向けて取り組んでいる内容も、その変化に対応しビジョンを達成していくためです。

今回はその中から大東社長直轄プロジェクトと、現在と将来の両面を見据えて取り組んでいる社内研修についてご紹介いたします。

プロジェクトとは「フォークリフト事故絶対ゼロ」、「高年齢労働者の働きやすい未来への改善」、「品質苦情発生防止への新たな取り組み」です。

現在これらのプロジェクトで幅広い方にとって働きやすい仕組みづくり、そして顧客との信頼関係強化の仕組みづくりを図っています。

一方社内研修では「次世代管理職研修」と「女性リーダー合同勉強会」が2030年12月に修了し、現在「マネジメント基礎研修」と「リーダーシップ研修」を進めています。

研修とはただ知識を得るだけではなく、得た知識を活かす場でもあると捉えています。年齢や経験、役職に応じた内容を設定しているの、少しでもご興

味のある方はどんなことを学んでいるのか、受講者に質問してみてください。また、研修を受けた方は自分の言葉で伝えることでより理解が深まり、お互いにとってプラスの効果があるはずですよ。

代表取締役専務 山本 純久



2023年12月 PHP5期生研修修了式

社内研修

※開始順

●PHP5期生研修(次世代管理職研修) 2022年10月～2023年12月修了

若手社員の育成(リーダーシップ向上と組織力強化を図る)

●女性リーダー(TL/LL)合同勉強会 2023年1月～12月修了

花王工場内の女性リーダーを対象とした勉強会(今後、流通加工センターでも実施予定) チームコミュニケーションやリーダーとして必要なマインドについて学ぶ

●マネジメント基礎研修 2023年8月～

管理職層のマネジメント力に磨きをかける(必要な考え方とスキルを学ぶ)

●リーダーシップ研修 2023年8月(振り返り) 2023年12月・2024年1月)

チームリーダー全員が対象、リーダーとして必要な意識と行動について他部署との交流などから学びや気づきを得る機会とする



役員座談会

現在、役員の方々が取り組んでいるプロジェクトについてお話を伺いました。



山本専務(以下専務)

私たちは会社の中
期目標である「チャレ
ンジ2030」をどの
ようにして達成して
いくのか、そして山本
産業を「働き続けたい
と思ってもらえる会
社」にするための本質
的な課題について四
人で対策を考えてい
ます。

初めの頃は「働き続
けたいと思ってもら
える会社」とは、と私
たちだけで議論して
いましたが、それでは
推測の域を出ないた
め、リーダーの方々に
ヒアリングをしまし
た。そして皆さんから
いただいた膨大な意
見を精査しました。

堀口哲行(以下堀口)

皆さんの意見の根
源にはいくつか共通
するものがあり、そこ
が本質であると辿り
着きました。

専務

その本質課題への
改善はこれからにな
ります。

末田治(以下末田)

「チャレンジ2030」
の推進としては、人事
評価制度の改定を進
めていきますが、その

中でも賃金制度の見
直しが今後の課題で
す。

◇山本産業の

文化を作る

専務

お世話になってい
る先生に「文化を変えるに
はコミュニケーション
から」という言葉を学
びました。伝え方とか
聞き方とか、日常の中
で接し方を変えてい
くことで皆の関係も
良くなると思います。

末田

意識しないうちに
強い言葉になってし
まうこともあります。
話す前に一旦頭の中
で言葉の使い方を考
えるなど、先ずは私た
ちから実践していき
ましょう。

堀口

対面でないコミュ
ニケーションはより
注意が必要です。

山本純司(以下山本)

文化
の話では、課題に取り
組む時、主体になる人
を周りのメンバーが
助けていくという文
化も根付かせていき
たいと思います。

末田

議論の中に「認める
文化」「肯定する文化」
という話もありまし
たね。

専務

意見や報告を一度
受け止めることが大
事ですね。

末田

さっき専務が言っ
てくれた「接し方を変
えていく」というのは
多分そういう所だと
思います。頭ごなしに
相手を責めるのでは
なく、報告を一度受け
止めた上で対応を一
緒に考えるようにし
たいですね。

専務

「どうしてそうなっ
たのだろう」と仕組み
を責めたいですね。

末田

一つ一つは小さな
ことですが、それを皆
が繰り返していくこ
とで、会社がもっと居
心地の良い働きがい
のある場所になるの
ではと思います。

堀口

私は連絡の抜けが
ないよう、「お互いに
関心を持ちあうこと」
を皆に言い続けてい
ます。

専務

「聞いているだろう
な」と自分の中で完結
せずに、「聞いている
と思うのだけれど」と
と手間を惜しまずに
声を掛けて確認して
いきたいですね。

末田

連絡の抜けには、上
長が自分の部下に伝

えるよう、役割として
決めておくことも必
要ですね。

◇役員の方々の決意

末田

先ずは私たちが率
先して、コミュニケーション
のやり方を変
えていきたいと思います。肯
定から入ることを意
識すること、普段の言
葉遣いや話の聞き方
など、自分を変えよう
と思えば変えられま
す。

山本

私たちは見られて
いるのだと意識して
いきましよう。

末田

無意識の内にコミュ
ニケーションに問題
があつた場合は、皆さ
んから言ってもらえ
る私たちでありたい
です。全員が言っても
らえるような役員で
ありましよう。

山本

皆から声を掛けて
もらえやすいように。
私たちがから行動を変
えていく、ということ
で。

専務

堀口

コミュニケーション
だけでなく、色んな
意味でそうありたい
です。

フォークリフト事故 絶対ゼロプロジェクト

安全、安定、安心を追求するよきモノづくり

生産本部 安全担当 松下典彦

皆様ご安全に!日々、職場での安全活動および、個々人での安全意識向上に努めていただき、誠にありがとうございます。

私たちが請け負っている業務に欠かす事が出来ないフォークリフトですが、全国的に見ても事故災害が後を絶ちません。過去5年間を振り返ると、毎年約2000人以上が作業中に何らかの怪我を負い、約20人が命を落としています。原因は様々ですが、フォークリフトを操作するリフトマンと周辺で作業するメンバーのお互いに、ほんの少しの安全確認行動があれば、未然に防止する事ができた事故が多数とされています。



残念ながら我が社でも、毎年数件のフォークリフト事故を発生させてしまっています。また、事故には至らずとも『ヒヤッ』とした経験は、リフトマン以外の方にも少なからずあるかと思います。“2024年は絶対ゼロ”にすべく全員参加で挑戦し、**【安全、安定、安心を追求するよきモノづくり】**を実現するため、プロジェクト活動を推進して参ります。

このプロジェクトの大きな目的は2つあります。

- ◆従業員が安全に安心して働く事が出来る“事故ゼロ”職場の構築
- ◆“事故ゼロ”を以って、顧客への貢献、顧客からの信用・信頼を得る

フォークリフト業務に於けるルールの特明化、ルール規範の再教育等をはじめ、“ついうっかり”のミス行動の抑止に至るまで、プロジェクト活動を進めて参ります。

従業員全員の衆知を結集し、事故災害の無い、明るく楽しい職場の実現に向け、皆様と共にプロジェクト活動を進めて参りますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

高年齢労働者の働きやすい未来への職場改善

生産本部 CP-1 第3Gr 島本 知美
CP-2 第1Gr 波多野江里



年々、高年齢労働者のケガ・事故が増加の傾向にあります。また少子高齢化の影響もあり、職場での高年齢者の割合も増えてきています。

誰しも年齢とともに身体の俊敏性・反射神経・五感などが少しずつ衰えていくなかで、「まだまだ元気!!!」と言う声に甘えて無理をさせていないか心配です。

会社では、「チャレンジ2030」を掲げ『社員のみんがが幸せな生活、幸せな人生をおくるため「働き続けたいと思っもらえる会社」』を目指しています。

その中で「安全、安定、安心を追求するよきモノづくり」とあり、高年齢労働者が安心して安全な作業を安定して行える環境を目指してプロジェクトを発足させました。

私たちのプロジェクトでは高年齢労働者の方々とのコミュニケーションを大事にし、いただいた声を現場と共有いたします。

その第一歩として「高年齢労働者向けのアンケート」を実施しました。各現場でのヒヤリや元気の秘訣など、様々なご意見ありがとうございました。皆さんの声を無事故・無災害へ繋げていきます。

高年齢の皆さんが日々、笑顔で過ごせる職場をつくれるよう、力を合わせて改善していきますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

互安全に。

品質苦情発生防止への新たな取り組み

生産本部 品質担当 嶋田勝之

品質保証で新たに取り組む『品質リスクアセスメント』について紹介します。

プロジェクトを立ち上げたきっかけは、流通加工センターで品質指摘が増加していたことからです。

増加の背景には、花王様の品質基準が上がったことにより、これまで対象とされていなかった事象もカウントするようになったことがあります。

このままでは「チャレンジ2030」に掲げる【安全、安定、安心を追求するよきモノづくり】を達成できないと危惧し、対応を模索していたところ、社長から『品質リスクアセスメント』のアイデアをいただき、このプロジェクトを発足しました。

今までの品質活動では「不適合品を後工程に流さない」ことを主に取り組んできましたが、今回のプロジェクトでは「不適合品を発生させない作業方法の確立」にも注力して取り組みます。

又、プロジェクトの目標は「流通加工センターから1年間苦情を発生させない」です。活動は始まったばかりですが、必ず成果を出し、皆で目標を達成させます。

この活動の主役は、作業を担う皆さん一人ひとりです。皆で最適な作業ルールを作り、それを皆で守り、お客様に安全・安定・安心を届けられる“よきモノづくり”を実現させましょう。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



チーム紹介 星和寮

花王工場から少し離れた場所に建つ、花王㈱「星和寮」の清掃業務を担っています。6人のメンバーが、1日4人体制(3日出勤して1日休みのシフト制)で勤務しています。

◎毎日の清掃業務

午前中は、全部で5棟ある建物の1～4階にかけて、共有部分の掃除機掛け・拭き掃除・ゴミ回収や、4棟各階の洗面所・トイレ清掃、大浴場の清掃などのルーティン業務と、午後からは、管理人さんと調整して入寮・退寮の個室内清掃や、庭の草むしり・各所の窓拭きなど、仕事は探せばいろいろあるので、マトリックス表を作成し、メンバーで相談して決めています。

寮生のみなさんへ掃除を通して「おもてなし」を届ける気持ちで、日々の業務に取り組んでいます。



左から：森井さん、江原さん、山東さん、朝倉さん、横山さん

◎『心も身体も健康で楽しい職場づくり』

すごく雰囲気が良く、いつも和気あいあいとしています。何でも言い合える・相談できる、ケガなく安全に働ける職場を目指し、笑顔でお互いを思いやる気持ちを持っています。

自分の持ち場が終わったら率先して助け合うなど、「仲間意識」がとても強いチームです。

◎山東さんインタビュー

現在、山本産業で最高齢の山東さんをご紹介します。

67歳でこのチームに来るまでは、花王工場内で製造業務に携わっていました。

最初は経験したことのない仕事内容のため、異動することに抵抗があったそうですが、パートナーからの後押しもあり決心したそうです。

この年齢まで健康に働けたのもみなさんの支えがあったからこそ、周りのみなさんが心温かい気持ちで接してくれたことに本当に感謝していると、笑顔で話してくれました。

※インタビューは、ちょうど阪神タイガースが昭和60年以来の日本一に輝いた翌日。

大の阪神ファンの山東さんは、始終ウキウキと嬉しそうにお話してくれました。



取材日にお休みだった
南方さんと山東さん

CP-2 第1Gr H・詰替ラインオペレーターの活動報告

★オペレーターの多能化について

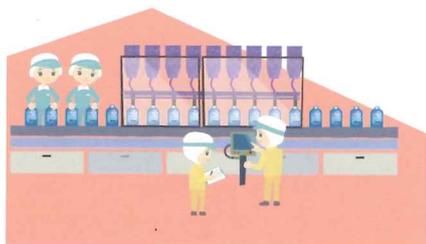
CP-2第1グループの充填包装オペレーターでは業務の多能化に挑戦しています。

多能化とは自身の担当ラインに加えて、他のラインを担当できるようにすることです。

私達の担当エリアにはH-1・H-2、詰替9号・詰替10号・詰替13号という充填包装ラインがあります。4階Hラインと2階詰替ラインとで担当オペレーターが分かれています。両者がお互いのラインを運転出来るようになれば、そのラインを理解している人が同時帯に2人以上いる体制を取りやすくなります。そうすることで突発トラブルが起こった際には同僚に相談することができ、スムーズな対応をとることで停止時間の短縮に繋げることができます。また、新人のオペレーターが一人立ちした際のフォロー体勢もとります。

現状、日々の生産業務で手一杯になり、なかなか計画を進められていませんが、新たな業務を習得することは評価にも繋がるため、メンバーの多能化への意欲は高くあります。

私達はこの活動を通じて個々の能力を上げることで、チームとしても成長できると信じ、活動していきます。



H・詰替ラインオペレーターのみなさん

外国人技能実習生のご紹介

みなさまから沢山のことを学び成長した技能実習1期生9名は、2023年9月20日の修了式を経て、山本産業から感謝の気持ちと共にそれぞれの場所へ旅立って行きました。みなさまに可愛がっていただき本当にありがとうございました。

淋しくなるなあ…と思いつつも、2023年7月25日には技能実習2期生9名が、10月3日には技能実習3期生9名が山本産業に入社いたしました。実習生18名全員が、【日本の文化を学びたい、日本の仕事のマナーを学びたい、日本語を学びたい】と意欲満々で日本にきています。まだまだ思いと行動が伴っていないことが多々あるかと思えますので、みなさまのあたたかいサポートと、時には厳しいご指導をいただけましたら幸いです。何卒よろしくお願いたします。

1
期生



2
期生



3
期生



生活習慣を見直しましょう

2023年の1月から3月に行いました健康診断の結果では、**血中脂質**検査の有所見者数が増加しました。

脂質の異常は、心筋梗塞や脳卒中といった病気につながる恐れがあるため、所見があった方は**生活習慣を見直しましょう**。



◎食事

- ・肉料理の回数を減らし、魚料理を食べる
- ・脂質の多い菓子やパンを減らす
- ・お酒を控える



◎運動

- ・ウォーキングやジョギング、サイクリングといった有酸素運動を行う(1日30分以上・週3日以上が理想)
- ・日常生活では階段の利用やスクワットがおすすめ

健康診断の結果により、**特定保健指導**の対象になった方は積極的に利用しましょう。結果が良好であった方でも、このまま現在の取り組みを継続してください。

「痛みケア」についての活動報告

「働き続けたいと思ってもらえる会社」を実現するための「思いを一つにチャレンジ2030」の項目の一つ「安全、安定、安心を追求するよきモノづくり」の活動として流通加工センターでは「痛みケア」活動を実施しています。

目的：「働きがい」を実現する為の土台づくりとして、「痛みケア」活動を通じて健康を維持する

目標：岩出工場で「体の痛み」による退職者をなくす

理学療法士との面談・指導を通じて「体の痛み」の予防・緩和を行う。

具体的な活動内容は、テーピング・サポーター・体操等の指導、施設管理者・技術開発責任者の方々への助言等を行っております。

ストレッチの指導



テーピングの指導例



指導開始から約半年が経過し、岩出工場では「痛み」の症状が確実に軽くなりつつあります。今後も「痛みケア」活動を通じ、皆さんが健康な状態で働けるよう取組んでいきますのでご協力をお願いいたします。

社内表彰

著しい成果を上げられたことにより、社長から感謝状が贈られました。

**生産本部 CP-2 第2Gr
新田真理子さん**

設備の洗浄作業に使用するポンプの分解・組立作業と、移動における負担軽減について顧客に提案。

ポンプが分解せずとも移動可能に改善され、洗浄方法も屋外での手動洗浄から隣接する設備での自動洗浄に変更されました。顧客との折衝により、身体的負担の軽減と作業時間の短縮を達成された功績をここに称えます。

最優秀賞の紹介

5月に安全標語、7月に健康標語を募り、みなさまの思いを標語に表現していただきました。



安全

誰かのヒヤリは、私のリスク自分のことに置き換えて気づきで止まらず安全行動

生産本部 技術開発 大西健一さん

健康

おかしいな!いつもと違う仲間のサイン
笑顔で優しく声かけて作ろうみんなの健康職場

生産本部 ケミカルFC東Gr 狩野進英さん

沢山のご応募ありがとうございました。

永年勤続表彰

永年勤続表彰の皆様、おめでとうございます。
 数々のご功績と誠実な勤務の賜物とお喜び申し上げると共に、
 今後共、後進のご指導に一層ご尽力いただけますようお願い申し上げます。

永年勤続
30年

小山 千昭さん 岩脇 敏さん

永年勤続
20年

野瀬布美子さん	大城 由絵さん	伊原由香里さん	杉原 京子さん
上坂 梨恵さん	打越 洋子さん	山本 浩伸さん	吉岡 嘉哉さん
上川 さちさん	阪中 敬子さん	大久保賀召さん	堀辺 恭代さん
衣奈 正記さん	石井 元さん	叶 順子さん	延川 敦子さん
松村 美貴さん	吉田 浩二さん	中川 正子さん	新田真理子さん
古根川万希子さん	石橋 優子さん	藤原利江子さん	北面由美子さん
東 力也さん	大倉ケンペツトさん	森 千恵美さん	倉本万里子さん
深海 美鈴さん	井谷 斉明さん	原島富美子さん	

永年勤続
10年

谷口 初美さん	岩野 宜樹さん	清田ロターさん	栗本 仁美さん	加山 元子さん
中尾 友紀さん	藤野 司朗さん	山中 真紀さん	小薮 幸さん	堺 隆史さん
小浦 善己さん	東野 幸子さん	田中 利香さん	大西真梨奈さん	和泉二三夫さん
井上 雄貴さん	田中 美砂さん	岩橋 紗代さん	赤井美稚子さん	
奈良 重和さん	皆木優賀利さん	木村 明史さん	ガンノロナレカンボさん	



山本産業は アルテリーヴォ和歌山を 応援しています!

2023年戦績

関西サッカーリーグ1部 優勝
 全国社会人サッカー選手権 準優勝
 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ
 1次ラウンド出場

2023年はJFL昇格
 にあと一步のところま
 で近づきました。
 山内選手・清本選手・
 二木選手・山瀬選手、
 お疲れ様でした。



2024年シーズンの
 活躍も大いに期待
 しています。

**引き続き
 みなさまからの温かい応援を
 よろしくお願いします。**

2023年度 新入社員

2023年4月1日に6名の新入社員が入社しました。
 メンターさんをはじめ、職場の皆さまの温かいご指導
 のもと、担当業務に励んでいます。社会人1年目で不
 慣れなことも多くあるかと思えます。気が付いたこと
 などありましたら、ぜひお声掛けください。
 まだまだ学びは続きます。引き続きご指導のほどよろ
 しくお願いします。

CP-1



中村さん



上原さん



玉置さん

CP-2



佐々木さん



松本さん



橋本さん

従業員相談窓口のお知らせ

従業員相談窓口の担当者に変更になりました。何でも気兼ねなく、ご相談ください。

電話

8:15~17:15 ※平日のみ
 073-422-6692(花王工場内事務所)

郵送

〒641-0012 和歌山市紀三井寺531-4
 山本産業株式会社 嶋田宛

メール

shimada.katsuyuki@yamamoto21.co.jp



しまだ かつゆき
嶋田 勝之さん

編集後記

本号で社内報も14号となりました。皆様のご協力により現在まで続けることができています。ありがとうございます。

社内報発行の目的として「社内の情報を誠実に伝える」ことがありますが、改めて内容を確認すると「安全」や「健康」に関する記事が多かったです。今まさに会社として注力している点です。皆さんもご自身だけでなく周りの人を含め気をつけてください。

事業戦略本部 人財育成